

TOPICS
特別講義**これからの資産運用 ~新しい時代で起きていること~**

マネックス証券株式会社 代表取締役社長 松本 大 客員教授

2017年11月11日(土)、マネックス証券株式会社 代表取締役社長 松本大 客員教授が、「これからの資産運用~新しい時代で起きていること~」をテーマに特別講義を行いました。本学在学学生・修了生のみならず、一般の方も多く受講した松本氏の講義は、投資の理論から始まり、最終的には世界情勢に帰着しました。なぜ、社会の変化が資産運用につながるのでしょうか。松本氏の講義を振り返ります。



松本大 客員教授

個人がマーケットの主役

通常どんな国でも、GDPの6割から7割は個人消費です。そして、企業の最終的な株主は「個人」です。大株主の機関投資家がいるのではないかと、という人がいるかもしれませんが、機関投資家である企業も、その株主を細かく見ていくと「個人」になるのです。すなわち、マーケットの主役は「個人」であると言えるでしょう。みなさんが主役なのです。ただし重要なことは、みなさんはたった1人の主役ではなく、100万人もしくはそれ以上多く存在する主役のうちの1人だということです。つまり、自分の考えが正しいと思うのは間違いで、自分以外の99万人が逆に考えていれば、そちらが正しくなる世界なのです。

**自分の思いと逆行く
マーケット**

マーケットは、あらゆる主役の様々な情報や心理を織り込んでいます。しかし、人は参加者



全体の種類や多さを低く見積もりがちです。情報に関する自分の解釈で、マーケットの反応や方向を推測できると、つい考えてしまいます。実際は、あなたより多くの情報をもっている人が、あなたより先に考えてやっています。もうその動きはすでに終わっています。あなたは遅すぎるのであり、結果、マーケットが自分の思いと逆行くように感じるのです。

情報には、川上情報(特殊情報)と川下情報(一般情報)があります。新聞や雑誌の情報は、すでに使い古された川下の情報です。「今だ!」という決断には使えません。では、新聞や雑誌から情報を得ることは無駄なのでしょうか。いいえ。みんなが知っている情報を知るために使うのです。そして、なぜ今株価が上がっているのか下がっているのか、マーケットの言っていることに耳を傾けることが重要なのです。インテリジェンス(知恵)を得るためには、幅広く膨大なインフォメーション(情報)が必要です。

**現象を受け止めて分析する、
世界情勢のアンテナを立てること**

たとえば、トランプ大統領について、どう考え

ますか。彼を批判するのではなく、なぜアメリカ国民が彼を選んだのかを考えるべきです。感情やイメージだけで判断せず、冷静に考えていくと、色々なことが見えてきます。現象をそのまま受け止めて、分析すること。さかのぼって考えていくこと。これはかなり知的なゲームです。資産運用の投資判断で行うことは、生きていく上でも重要なことだと私は思います。



講義後に参加者の個別相談を受ける松本氏

修了生の今

働きながらMBAを取得された修了生に、入学経緯や大学院で学び得たこと、今後の抱負や展望などについて語っていただきました。



株式会社マルタケ
経理部課長

マルタケ不動産株式会社
代表取締役副社長

居城 洋さん

(2017年3月本学修了)

関東信越税理士会 税理士登録(2017年10月26日)



「まもる、つながる、かんじる」がコンセプト

弊社は医薬品等総合商社です。今年で創業92年になります。主戦場である年間10兆円の医薬品市場が今後シュリンクしていくなか、既存事業内における選択と集中及びコスト効率化を通じたシェアの維持、拡大、そして、既存事業に代わる新たな事業の柱を創造することが急務となっています。現在、弊社では、創業後92年に渡って医療業界で培ってきたノウハウを礎に様々な新しい事業の種を蒔いています。

そのランドマークとなっているのが現在、新潟駅前にて建築中の新マルタケビル(仮称)です。「まもる、つながる、かんじる」をコンセプトに先進的な免震構造・BCP対応、人とアイデアが交わり新しいビジネスを生む場、先進的な学びを創出する場を備えた、今までの新潟にない、全く新しいオフィスビルを創造します。新潟駅前というこの地で想いを発信するとともに、地域の為、人々の為、真に必要とされる価値を提供していきます。



新マルタケビル(仮称)パーキング

自分の夢、人生の目標を まっすぐ見つめて

これを見ている方々の中には入学を迷っている方も多くいらっしゃると思います。環境、置かれている状況は皆さん各々で異なると思います。躊躇するところもあるのかもしれませんが、そんなときは、自分の夢、人生の目標をまっすぐ見つめてみて下さい。それを叶えるための2年間が本学には必ずあります。たった一度の人生です。悔いなく、自分に正直に、完全燃焼して欲しいと思います。



在学中のプレゼン発表会

「税理士×MBA」という差別化できるスキル

新たに様々な学びが 必要な状況に

私の夢は財務、税務のプロフェッショナルになることでした。

そのために税理士資格の取得を志しました。税理士試験の受験は多大な時間を要します。吸収する知識、技術の量も膨大です。私の場合、税理士試験に取り組むことが自らの業務である財務税務業務の遂行に大いに役立っていました。

しかし、ある時期から、新たに新規事業、経営業務、管理業務等、複数の業務に携わることとなり、様々な学びが必要な状況になりました。そして、同時に限られた時間のなか、従来のような税理士試験への取り組みが難しくなってきました。自分はどこを目指していけばよいのか。そんな葛藤を抱えるなか、私は本学に出会いました。

税理士となり財務、税務のプロフェッショナルになる夢が叶うこと、MBA分野の知識習

得により新しい事業・業務に備えることができること、「税理士×MBA」という差別化できるスキルを身に付けることができること、この3つが本学への入学の決め手でした。

大学院で学び得たMBA分野の 知識は実務に直結

意識の高い仲間達、素晴らしい先生方並びに事務局の方々とお出会えたことが大きな財産です。

また、仲間達との交わり、先生方のご講義等を通じ、学んでいくなかで、自分の未熟さも知ることができました。同時にこれから自分が学ばなければいけないこと、伸ばしていかなければいけないところが明確になり、よかったですと感じています。

本学で学んだことは、業務を遂行する上でなくてはならないものでした。財務税務業務について、演習、税法、管理会計を通じ、思考の土台である基本概念をしっかりと確立することができました。その上で新規事業への目線として、アントレプレナーファイナンス、ビジネスプラン、マーケティング、統計分析、経営戦略で学んだことが、様々な判断過程において大変役立ちました。そして、経営目線として、リスクマネジメント、企業倫理で学んだ知識、考え方に大いに助けられています。本学で学ぶMBA分野の知識は、実務に直結する内容が多くあります。日々「学び=実践」が繰り返されるとても充実した日々を送ることができました。



社内での新規事業打ち合わせ

